

# 総額48億5800万円 令和4年度能勢町一般会計予算を可決

## 予算常任委員会報告

委員長 平田 要

予算常任委員会に付託された「令和4年度能勢町一般会計予算」について、3月11日、14日、15日、16日に委員会を開催し予算内容を審議しました。討論の後、採決を行い賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

賛否										原案可決
井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	大西 則宏	太田 祐介	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	森田 則子	平田 要
×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

### 総務部 (総務課・理財課・住民課)、出納室、議会事務局

**問** 乗合タクシー実証運行の開始にあたり、目標とする人数、利用者を増やすための取組み、また実証実験中の利用者の声をどの様に聞き改善していくのか問う。

**答** アンケート結果をもとに1日20人位としている。試走するための説明会、広報、チラシ等で周知を図っていく。利用者からの声は、運行事業者と意見交換の場を設け聴けるよう努めていく。

**問** 庁舎跡地等の活用に向けた基本計画策定と、具体的に設置しようとする施設内容について問う。

**答** 土地の余条件の整理をし、基本計画の理念、利用建築物の検討、計画条件の設定等、令和4年度の早い時期から着手し、令和5年度に反映できるよう進めて行きたい。旧庁舎解体撤去を踏まえた中で、どのような利活用の計画を作っていくのかは、憩いの場等の話が出ているが、駐車場、浄るりシアター、庁舎など全体で、どの様に利活用していくか考えていく。

**問** 令和4年4月1日から過疎地域指定を受けることになった。このことで過疎地対策事業債を活用することで、財政収支見通しの経常収支比率等の改善の要素になるのか問う。

**答** 一般財源で行わなければならないところを過疎地対策事業債の対象とした場合、事業債の7割が交付税措置になれば将来の財政負担比率は大きく改善する。過疎地対策事業債を活用することによって財政運営が厳しくなることなく、各指標についても中長期に見ても効果を表すものと考えている。

**問** 一般質問の答弁で、消防団員の組織再編について、定員250名(現在500名)で令和4年度中に決めていくとされているが決定事項か、消防団と協議のうえで進めて行くのか。また、地域防災計画を基にした消防団が再編され、消防力の低下を防ぐ手立てについては、町が協議を行うことについて問う。

**答** 消防団事務局として定員250名をめざしていきたい。消防団の中で議論いただく内容と考えている。また、地域防災計画に関連する各団体としては、消防団、警察署等としている。常備消防が設置されて7年、住民の安心が構築できてきたこと、団員の高齢化を踏まえて負担軽減を図りつつ自主的に消防団の判断を尊重した再編に努めたい。地域防災計画の策定は、町長に権限がある。

### 福祉部 (福祉課・健康づくり課)

**問** 課題となっている土曜日の放課後児童クラブの開設について、状況を問う。

**答** 土曜日の開設については担当部の課題と認識している。長期休業期間については土曜日を開設し対応しているところである。放課後児童クラブは、指導員、補助員の確保について従前から課題となっており、これらの課題解決の見込みが立った場合、土曜日開設を考えていきたい。

**問** 避難行動の要支援者名簿の作成として、地域と福祉課で対応にあたられていたが、どの様に活かされるのか問う。

**答** 民生委員・区長の皆さんの協力で福祉マップを作成した。これをもとに要支援者名簿を自治防災担当で作成している。各区においては、これらをもとに避難訓練ができればと考えている。助けを必要とする方を把握することで、災害が起こった時一人でも多くの命が助けられると考える。

**問** 新型コロナウイルスの無料で受けられるPCR検査と制度の周知について。また、陽性が出た場合の対応はどのようにしているのか問う。

**答** 2月24日から、感染に不安を感じる方について住民を対象とした無料のPCR検査を行っている。公式のLINEとホームページ、チラシ等で広報している。陽性者については保健所が一元的に対応している。